

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の分析

山北町教育委員会

令和3年度全国学力・学習状況調査が、令和3年5月27日に全国の小学校6年生及び中学校3年生の全児童・生徒を対象に2年ぶりに実施されました。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止)この調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的にしています。

その結果が、8月に文部科学省から送られました。学校は、教科ごとに児童・生徒一人ひとりに個人票を返すとともに、全体の結果を分析したうえで指導と改善に努めています。

### 【教科に関する調査】

教科による内容項目において県公立学校と比較したところ、良好な点及び課題点は次のとおりでした。なお平均正答率では、中学校国語、数学においては、県平均と同程度の結果となりました。小学校国語、算数ではやや低い状況がみられました。

#### 《小学生》

○国語 自分の主張が明確に伝わるように、文章の全体の構成や展開を考える問題は、比較的正答率が高いです。読み手に分かりやすく伝えることなど、話すこと・聞くことを大切にした授業づくりの成果が表れています。その一方で、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約するなどの書く問題に課題があります。

○算数 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題やその関係を式に表わす問題はよくできていました。一方、面積の公式についての理解や複数の図形を組み合わせた図形の面積の求め方について記述する問題に課題がみられました。答えを求めるだけでなく、学習した知識や技能を活用する問題に戸惑っている様子が伺えます。

#### 《中学生》

○国語 自分の考えを述べる際、下書きとして書いた文章の構成を考え、聞き手により伝わりやすいようにする工夫等に関する問題は高い正答率でした。また、漢字や語句などの言語についての知識理解に関する問題についてもよくできていました。一方、文章を読み直し、語句や文の使い方、段落相互の関係について注意して書くことや相手や場面に応じて適切に敬語を使う問題に課題が見られました。

○数学 2次方程式などの計算や基礎的な図形の知識を問う問題がよくできていました。また、問われていることを明確に捉え、立式する問題についてもよくできていました。一方、グラフやデータを読み取り、傾向などを的確に捉えて問題を解決したり、数学的な表現を用いて説明したりする問題に課題がみられます。

### 【児童・生徒質問紙調査】

生活面や学習面に関する質問が69項目で行われました。全体として小・中学生ともに、「学校に行くのは楽しい」と答えている児童・生徒が多く、授業や仲間との生活などの学校生活を前向きに捉えている様子が見られます。また、ほとんどの児童・生徒が「いじめはどんな理由があってもいけない」と考えており、人権意識の高さが伺えます。小・中学校ともに、地域行事への参加率がとても高く、地域の大人との関わりやボランティア活動への参加率が高いという特徴があります。コロナ禍ではありますが、地域とのかかわりの中で児童・生徒が成長している状況が感じられました。友だちと話し

合う時に、最後まで話を聞くことができている児童・生徒が多く、仲間と協働して学習する基本的な態度がしっかりと身につけていると思われます。学習の中で ICT 機器の活用について関心が高い児童・生徒が多い傾向にあるため、ICT 機器の授業でのよりよい活かし方について考えていく必要があります。

家庭生活では、テレビやゲーム、スマートフォンの使用等に費やす時間が多く、学習の時間が少ない傾向にあるようです。自分で計画を立てて勉強する習慣が十分身につけていない児童・生徒が多くみられ、家庭学習の取組に課題がみられます。また、中学校では、「スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対し、「約束自体がない」と答えた生徒が多く、情報モラルやルール等について学校と家庭の連携を強めていく必要があります。

### 【今後の取り組み】

- ① 小・中学校の教職員が、互いの授業を見合い、研究会に参加し合う機会を設け、児童・生徒のよりよい成長につなげる職員の意識改革、互いの教育についての理解、共通の目線で児童・生徒にどのような力がついたのかという視点で検証し、授業改善に取り組みます。
- ② 小中一貫した教育をめざし、発達段階に応じた「子どもの姿」を共有するとともに、学びの連続性を大切にしたい授業づくりに努めます。
- ③ 学習や読書の習慣を身に付けさせるためにも、家庭学習の重要性について再認識し、学校全体で共通理解を図って取り組みます。
- ④ 主体的・対話的で深い学びを進めるために、職員研修の実施と ICT 支援員等との協議をとおして、最適な ICT 機器の効果的な活用方法について検討します。
- ⑤ 授業の中で、他の人と意見を交流し、自分の考えを表現する場と学び合うことのよさを実感できる授業づくりに一定の成果が見られます。今後も話す力、聞く力を育成するとともに、複数の意見から情報を取捨選択して自分の考えをまとめる力を育てます。